

令和4年度 調布市立第八中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標

○自ら考え行動する生徒 ○思いやりのある心豊かな生徒 ○心身ともにたくましい生徒

目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像

『心理的安全性に満ちた, さわやかで気持ちのいい八中』を目指して, 次の生徒像を設定する。

- 「道徳的実践力」の育成・・・人権教育及び道徳教育を重視し, 思いやりがあり心豊かな生徒を育成する。
- 「主体的課題解決力」の育成・・・主体的・対話的で深い学びを通して, 自ら考え行動できる生徒を育成する。
- 「創造的行動力」の育成・・・学校行事・部活動・キャリア教育等を通して, 心身ともにたくましい生徒を育成する。

ビジョン
の設定
理由
(本校の
現状と
課題)

○現状

- ・素直で素朴さを感じさせる生徒が多く, 生活面での乱れもなく, 学校生活は落ち着いている。学区外からの生徒が多く, 全体の4割近くを占めている。また, 通級利用生徒が全体の1割強となっている。
- ・保護者は, 学校に対して協力的で, PTA活動も活発である。また, 地域学校協働本部の活動がコーディネーターを中心に活発に行われており, 土曜学習部では, 地域ボランティアが多数指導に当たっている。

○課題

- ・魅力ある学校づくり(授業力の向上, 確かな学力の定着, 配慮を要する生徒への個別の支援)
- ・インクルーシブ教育の推進(R2・3年度の研究推進校研究発表を発展させた取組, 校内通級教室拠点校としての取組, 指導スキルの向上, ICT機器の活用)
- ・地域と連携した学校づくり(地域学校協働本部の活動の継続, 土曜学習部の運営, 各種検定の実施)

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
全教科共通	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ態度の育成 ・話し合い活動等を通し, 表現力や言語能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育の視点で, 心理的安全性に満ちた授業を行う。(目標の表記, 授業の流れの説明, 話し合い活動の工夫, ICT活用方法の工夫等)
国語	<p>言語知識の定着を図り, 相手の理解を考慮した表現力と方策の構築を念頭に, 主体的な態度での意見交流と, 他者の考えを取り入れる姿勢を育む。</p> <p>そのうえで, 具体例と根拠を明確に文章化したり, 説明したりする活動を通し, 表現力や言語能力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストなどを随時行い, 基礎知識の定着を図る。 ・発問に対する意見や考えを他者と共有をして, 再構成する手段を身に付けさせる。 ・小集団での意見交流と発表機会を多く設定し, 聞き取る姿勢の育成と文章化して伝える過程を大切に, 主体的な表現活動につなげる。 ・効果的な板書方法としてICT機器を利用する。 ・教科書の既習範囲の比較, 様々な文章形態を扱い, 書き手の意図, 表現方法を理解して文章作成に取り入れさせる。
社会	<p>よりよい社会の形成に向けた社会的な基礎・基本となる知識技能を育み, グローバル化する国際社会で生きていく主体的な態度を養う。また国際社会の抱える課題や様々な社会的な事象について社会的な見方・考え方を働かせ, 考察し, 説明する活動を通し, 表現力や言語能力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用して生徒の主体性を高める工夫や対話的活動を円滑に行うことで生徒の社会的な見方・考え方を養う。(Jamboardによる対話的活動, パワーポイントでの解説等) ・単元見通シートを活用し, 単元での学びの連続性を意識させるとともに, 単元を貫く問いを設定して, 様々な国際社会が抱える課題について多面的・多角的に考察する機会を設け, 表現する活動を行う。
数学	<p>数学的に考えることよさ(処理, 実用性など)を実感し, 様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する, または活用しようとする主体的な態度を育成する。その上で, 日常の事象や数学の事象を数理的に捉え, 数学を活用して論理的に考察し, 説明する活動を通し, 表現力や言語能力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を積極的に利用する。(ミライシードでの演習, パワーポイントでの解説等) ・授業での課題や発問を精査し, 課題解決までの見通しがもてる授業を行う。 ・新たな課題の発見を促すための, 授業の振り返りを充実させる。(振り返りシートの活用, 発表等)
理科	<p>目的意識をもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する能力の基礎と態度を育成する。また, 主体的・対話的で深い学びを目標に, グループでの話し合い活動を通し, 表現力や言語能力を身に付け, 科学的な思考力の育成を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやレポートなどで考察やまとめを言語化するとともに, 実験方法をグループで考えるなど, 思考し表現する活動を行う。 ・3年間の理科の学習のつながりや他教科との関連, 学習内容が実生活で生かされていることなどに関連させながら考えさせ, 理解を深める。
音楽	<p>心理的安全性に考慮し, 話し合いやグループ活動を取り入れ, 主体的な態度を育成する。音楽がもたらすイメージと音楽を形づくっている要素の関わりを説明する活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な視点で生徒が楽曲(音楽)を学習できるよう, 発問や授業展開を工夫する。 ・授業を振り返り, できたこと・できなかったこと・できるようになるための方法を考え, 粘り強く学習に取り組む。

	を通し、表現力や言語能力を身に付けさせる。	(振り返りシートの活用)
美術	<p>「主体的課題解決能力」の育成のため、生徒が授業の中で考え、自ら設定した課題を乗り越える手助けをしていく。また、主体的・対話的で深い学びを目指し、グループでの話し合い活動や、気づきの共有を行う。</p> <p>実技の面では正しい知識と手順を用いれば着実に結果の伴う授業を行い、学ぶことの喜びや自己肯定感の醸成を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多くの写真と解説の入ったプリントと、パワーポイントの両方を用い視覚・聴覚・言語のそれぞれに訴えかける授業を行う。 必要に応じて簡単な解説の入ったヒントカードを渡し、今何をするべきなのかを明確にする。 I C T機器を用いてよい生徒の良い取り組みを全体に共有し目指す方向を明示する。
保健体育	<p>基礎的な技能の定着を図ること、授業の目的を毎時間ごとに説明し、生徒が主体的に取り組むことのできる環境をつくる。また、仲間との学び合いの中で、生徒相互に意見交換する活動を通して、表現力や言語能力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードの活用により個人の課題を明確にすることで、次の授業の見通しを立て、継続的に取り組めるような授業展開をする。 I C T機器の活用により、自他の動きの分析をしたり、授業で説明したりする活動を取り入れる。
技術・家庭	<p><技術></p> <p>心理的安全性を考慮した授業を進めるため、対話的学びや模倣を取り入れた実習を展開し、主体的課題解決力の伸長を図る。また創造的行動力を育む観点から、生徒の個性を引き出しながら、物づくりに取り組む姿勢を育成する。</p> <p><家庭></p> <p>自立に向けて、知識や技能を身に付けながら、共生社会や持続可能な社会のために、何ができるか、考え、実践できる力を身につけさせる。</p>	<p><技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒端末を活用し、授業内でプログラミング等の学習を習熟度に合わせ、円滑に行えるようにする。 I C T機器を利用し、思考力や表現力を考慮した実習を行う。 <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎時間の学習目標を提示する。 小グループ活動を多く取り入れ、意見交換をしながら多様な考えがあることを学ぶ。実習では互い教え合う力を養う。 作品作りでは、見通しをもって作業に取り組めるように、I C T機器等を活用し、1時間の行程がわかるように提示する。
外国語 (英語)	<p>間違いを恐れず積極的に英語を用いて他者とコミュニケーションを図ろうとする主体的な態度を養う。</p> <p>ペアやグループでの話し合い活動や協働学習を通し、外国の文化をはじめ、さまざまな情報や考えなどを英語で理解するとともに、自分の考え・意見などを英語で伝える基礎力の定着をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を積極的に利用する。(パワーポイントでの進出文法の導入や練習等・ミライシード等を活用しての課題提出・発表活動・問題演習等) ペアワークやグループ活動を取り入れ、協働して学習する場面を多く取り入れる。
道徳科	<p>思いやりがあり、心豊かな生徒を育成する。道徳的活動を通して、主体的に自己を見つめる態度を養う。また、自分の考えや他者の考えを、話し合いやグループ活動を通じて多面的・多角的に考え、よりよく生きるための道徳性を養う。自分の考えやグループの考えを発表する活動を通して、表現力や言語能力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多種・多様な教材を通して、人としての生き方を深く考えさせる。 小グループでの話し合いを通して意見を出しやすい環境を作り、自分の意見だけでなく他者の意見を共有できるようにする。 毎時間、また学期ごとの振り返りシートの記入により、自らの成長を実感し意欲の向上につなげる。